

# 宮前区の地域の特色

～各地区の「地区カルテ」を比較すると、いろいろ見えてきます～



宮前区の地区カルテ

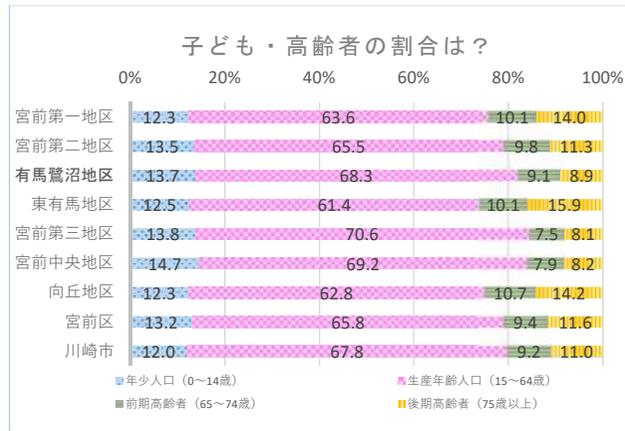
## 子ども・高齢者の割合がもっとも多いのは？

●年少人口（0歳～14歳）割合  
1位 宮前中央地区

●生産年齢人口（15～64歳）割合  
1位 宮前第三地区

●前期高齢者（65～74歳）割合  
1位 向丘地区

●後期高齢者（75歳以上）割合  
1位 東有馬地区



住民基本台帳 令和5年9月末

## 地域に住む人や建物の傾向は？①

◆ひとり暮らしが多い？家族で暮らす方が多い？

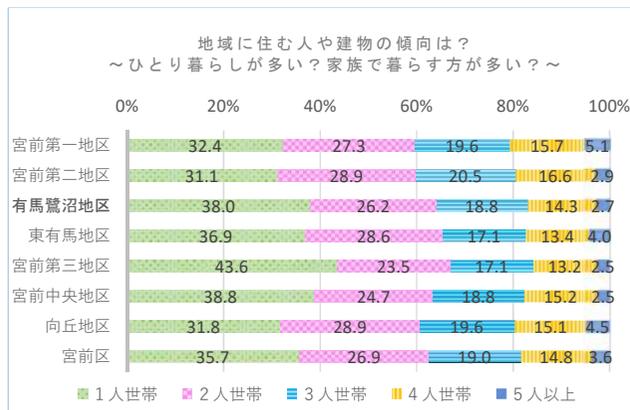
●1人世帯の割合  
1位 宮前第三地区

●2人世帯の割合  
1位 宮前第二地区  
向丘地区

●3人世帯の割合  
1位 宮前第二地区

●4人世帯の割合  
1位 宮前第二地区

●5人以上の世帯の割合  
1位 宮前第一地区



令和2年国勢調査 世帯の種類・世帯人員・世帯の家族類型 第5-2表

## 地域に住む人や建物の傾向は？②

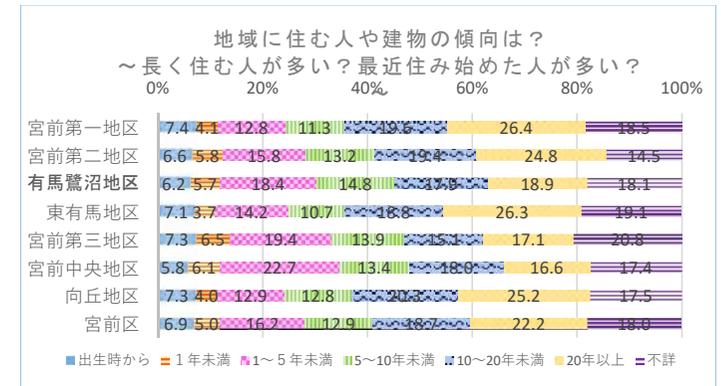
◆長く住む人が多い？最近住み始めた人が多い？

●10年以上、長く住んでいる割合  
1位 宮前第一地区

2位 向丘地区  
3位 東有馬地区

●住んでいるのが5年未満の割合  
1位 宮前中央地区

2位 宮前第三地区  
3位 有馬鷺沼地区



令和2年国勢調査 第18表男女、居住期間別人口・町丁・字等

## 地域に住む人や建物の傾向は？③

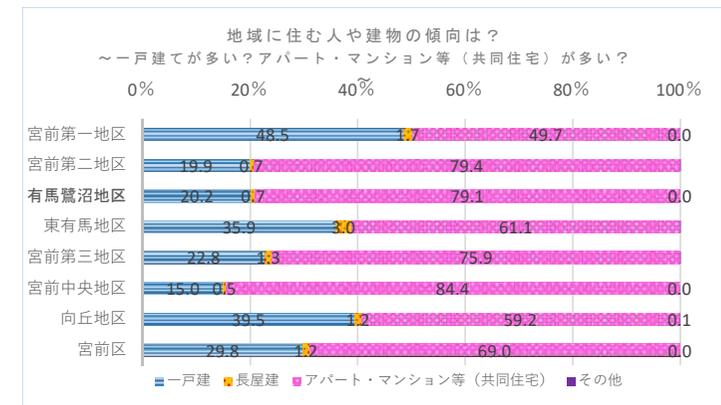
◆一戸建てが多い？アパート・マンション等（共同住宅）が多い？

●一戸建ての割合  
1位 宮前第一地区

2位 向丘地区  
3位 東有馬地区

●共同住宅の割合  
1位 宮前中央地区

2位 宮前第二地区  
3位 有馬鷺沼地区



令和2年国勢調査 第8-1表住宅の建て方別一般世帯数・町丁・字等

「地域に住む人や建物の傾向は？」の3つのデータを見ると、10年以上長く住んでいる人が多い地区の、宮前第一地区、向丘地区では、一戸建ての割合が多く、2人世帯以上の割合も多くなっています。

反対に5年未満の住んでいる人が多い地区の、宮前中央地区、宮前第三地区、有馬鷺沼地区は、1人世帯の割合が高く、そのうち、宮前中央地区は、区内でもっともアパート・マンション等（共同住宅）の割合が多くなっています。



# 宮前区の地域の特徴

～市民アンケート等で寄せられたご意見の紹介（高齢者）～

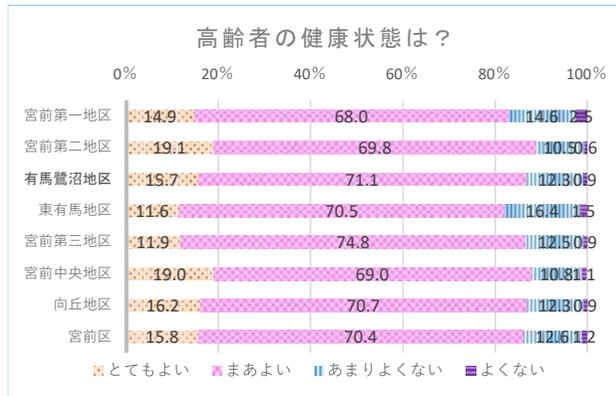
## ◆高齢者の健康状態は？

●「とてもよい」と「まあよい」を併せた割合が多い

- 1位 宮前第二地区
- 2位 宮前中央地区
- 3位 向丘地区

●「あまりよくない」と「よくない」を併せた割合が多い

- 1位 東有馬地区
- 2位 宮前第一地区
- 3位 宮前第三地区



令和4年度 川崎市高齢者実態調査  
(介護保険の認定を受けていない65歳以上の高齢者への調査)

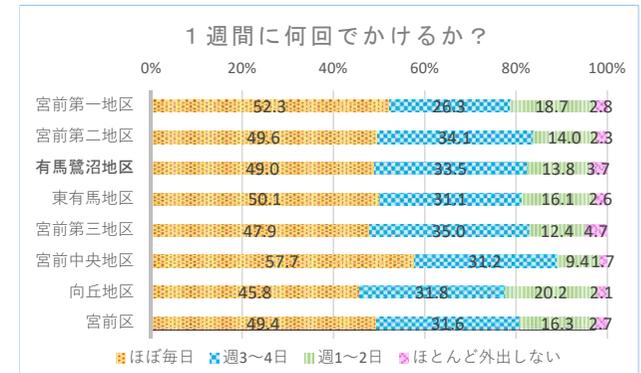
## ◆1週間に何回出かけるか？

●週3日以上出かける割合が多い

- 1位 宮前中央地区
- 2位 宮前第二地区
- 3位 宮前第三地区

●出かける割合が週2日以内の割合が多い

- 1位 向丘地区
- 2位 宮前第一地区
- 3位 東有馬地区



令和4年度 川崎市高齢者実態調査  
(介護保険の認定を受けていない65歳以上の高齢者への調査)

## ◆75歳以上の高齢者の運動習慣は？

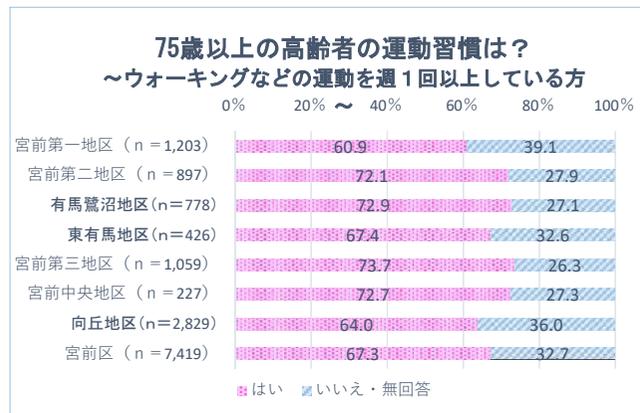
(「ウォーキングなどの運動を週1回以上している」方)

●「はい」の割合が多い

- 1位 宮前第三地区
- 2位 有馬鷺沼地区
- 3位 宮前中央地区

●「いいえ」の割合が多い

- 1位 宮前第一地区
- 2位 向丘地区
- 3位 東有馬地区



令和3年度 川崎市後期高齢者健康診査データ

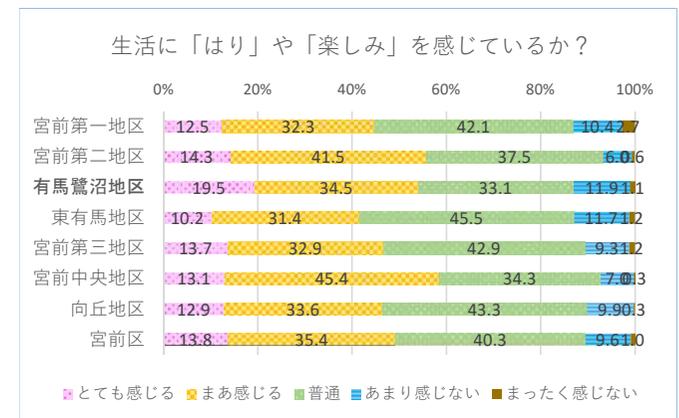
## ◆高齢者：生活に「はり」や「楽しみ」を感じているか？

●「とても感じる」と「まあ感じる」を併せた割合が多い

- 1位 宮前中央地区
- 2位 宮前第二地区
- 3位 有馬鷺沼地区

●「あまり感じない」と「まったく感じない」を併せた割合が多い

- 1位 宮前第一地区
- 2位 有馬鷺沼地区
- 3位 東有馬地区



令和4年度 川崎市高齢者実態調査  
(介護保険の認定を受けていない65歳以上の高齢者への調査)

アンケートをみると、生活に「はり」や「楽しみ」を「とても感じる」と「まあ感じる」を併せた割合がもっとも多い宮前中央地区は、出かける割合が「1週間にほぼ毎日」がもっとも多くなっています。

また、宮前中央地区は、健康状態が「とてもよい」、「まあよい」と併せた割合が区内で2番目に高く、毎日でかけることは、生活に「はり」や「楽しみ」を感じ、健康状態がよいと感じる秘訣といえるかもしれません。

